

ユ スフ エステス 元キリスト教牧 (1/5)

:

明:

活 的なイスラ ム宣教 であるユ スフ エステスが面白おかしく る、自身の改宗 。第1部: 生い立ち。

目: [事新改宗者ムスリムの逸 男性](#)

より: ユ スフ エステス

日 1 Sep 2013

集日 08 May 2017



多くの人は、なぜキリスト教の宣教 であり牧 でもある人物が、特に昨今のイスラ ムとムスリムに する好ましくない 潮の中で、イスラ ムに 向してしまったのか、私に いてきます。彼らの一部はただ に好奇心から、そしてまた一部は私のイスラ ムへの改宗に する い嫌 感から、そうします。また彼らは、なぜ私がイエスに背いたのか、そして私が 精 を本当に理解していたのか、または私が自らを「新生」したと なしているのかどうか、あるいは全く救 すらされていなかったのかと いてきます。これらの には、この投稿の最 で答えています。そしてまずは、私のつまらない に 味を持ってくださる皆さんに感 したいと思います。

ある一人のとても丁 なるキリスト教徒の男性が、なぜ私がキリスト教を ててイスラ ムに入信したのかとEメ ルで してきました。この投稿は、私が彼に宛てたものに 集を加え

たものです。

はじめに

私の今の名前はユースフ エステスですが、かつて人々はスキップと呼んでいました。まだ少年だった1950年代から、私はキリスト教を宣教しつつ、エンタメ ビジネスと音 界で いていました。私は父と音 店、テレビ ラジオ番 、 野外プログラムなどを立ち上げました。私はミュ ジシヤンの牧 で、ポニ に った「おどけ者のスキップ」として子供たちを しませていました。

かつて、私は宗教指 者のための国 和平会 に代表者として出席したことがあります。在 は、ワシントンDCにある 邦刑 所局のムスリム宣教 を引退 、ムスリム学生、青年 体、ムスリム 童のための学校などによって 成される、多くの米国人ムスリムと活 をしています。そのため私は世界中を旅し、クルア ンの中にある、イスラ ムにおけるキリストの 教えを いて回っています。私たちはすべての宗教と意 交 や 会の 会を け、あちこちのラビ、牧 、宣教 、司祭たちと 力しています。また私たちは 、 、大学、牢 などでも活 しています。私たちの目 は、ムスリムがあるべき正しいイスラ ムの教えを教育し、 播することです。イスラ ムは世界宗教として、信者の数ではキリスト教と肩を べるほどに成 しましたが、「平和、降伏、神への 」の教えを正しく理解 体 出来ていない多くのムスリムたちが、イスラ ムを持ち出しているのを目にします。

すみません、少し が してしまったようです。キリスト教の一部の について解明しようとする一方で、私が した物事を同じように した人たちにとって役立つかも知れないと思い、私たちの活 についての背景を少し 明したいと思ったのです。

それは、いかにして起きたか

私たちは神、イエス、言者性、罪、救 についていくつかの なる 点を持っているるため、これは奇妙に思えるかも知れません。しかし、私は多くの人々と同じ境遇を共にしていたのです。そのことについて 明しましょう。

私はアメリカ中西部の、非常に敬虔なキリスト教徒の家庭に生まれました。私の家族、そして先祖は、この土地に教会や学校を建てただけでなく、去に移民してきた人々そのものだったのです。1949年（私は老いぼれです）、まだ小学生だったとき、私たちはテキサス州のヒューストンに引っ越しました。私たちは定期的に教会に通い、私は12のときにパサデナで洗礼を受けました。私はティンエジャにして、他の教会にも通って彼らの教えと教を学ぶことを望んでいました。バプティスト派、メソジスト派、督派、カリスマ派、ナザレ派、キリスト教会、神の教会、キリストにおける神の教会、福音派、アガペ会、カトリック、老派教会などを含め、多くの宗派について学びました。私はいわゆる「善き知らせ」とされた「福音」にする望を身につけました。私は宗教にする研究をキリスト教だけに留めませんでした。ヒンズ教、ユダヤ教、教、形而上学、ネイティブアメリカンの信仰はすべて、私の研究対象でした。私が手を付けなかったほぼ唯一のものが、イスラムだったのです。どうしてかって？ 良いです。

ミュジシャンの牧

いずれにせよ、私はゴスペルやクラシックを始め、々なジャンルの音にも味を持ち始めていました。私の家族全体が宗教的かつ音的だったので、私自身も双方の勉を始めたのです。これらのことが、私がわった多くの教会におけるミュジシャンの牧としての立を立させることになりました。1960年には器を教えだし、1963年には、メリランド州ロレルに「エステス ミュジック スタジオ」をしました。

この事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/97>

著作 2006-2015 断を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断を禁じます。